

一般助成 子どもの健やかな成長を願う事業(みちびき・はぐくみ)

## 「核家族の子育て支援 ～一人で育児を背負い込まないで!～」事業

### 一時保育を効果的に利用してもらうことで 核家族で子育てをしている親の負担を軽減

社会から孤立していると感じながら、核家族で子育てに奮闘している親がいる。そんな親をサポートするために、定期保育と一時保育を組み合わせた保育を提供しているのがNPO法人エンゼルネットである。一時保育を上手に利用することで、心身のリフレッシュ、復職への準備をしてほしいと、昨年度、保育料割引にチャレンジした。



一時保育のニーズに応える画期的なサービスが好評で、2015年4月～2016年3月、約400人が利用

#### 一時的に子どもを預けたいという 不安や負担を軽減

保育所や幼稚園に子どもを預けずに子育てをしている家庭において、さまざまな事情や用事で、一時的に子どもを預かってもらいたいときがある。近くに父母・きょうだいや親戚、ママ友などが住んでいれば、そうした事態にも対処できるかもしれないが、都市部では核家族での子育てが大勢となり、ママ友も同じように乳幼児を抱えているような状況では、なかなかそうもいかない。

「そうした母親が、実は世の中にはたくさんいます。それがストレスとなって育児ノイローゼになったり、病気を悪化させたり、子どもを虐待するきっかけになったりする。今日

だけでも、あるいは1、2時間だけでも子どもを預けたいという一時保育の要望に応えることで、就労に関係なく、核家族で子育てをしている親を支援することを目的に始めたのが、私たちの一時保育事業です」。

そう話すのは、京都市伏見区で認可外保育施設を運営するNPO法人エンゼルネットの森一純理事。こうした子育てに対する不安や負担の重さから、せつかく育児休業が取れるようになって、第二子、第三子を諦めている人もいます。森さんは言う。「一時保育を上手に利用して、買い物をしたり、美容室やマッサージなどへ行ってリフレッシュしたり、職場復帰の準備をしたりすればよい。それは育児をさぼることとは違います。そもそも、子育て中の人も休むことは大切です」。

#### 一時保育をもっと利用してもらうために 保育料割引や保育料チケットの提供

エンゼルネットでは、昨年度、一時保育をもっと利用してもらうための事業を実施した。そのひとつが、3歳以下の子どもがいる親を対象に、1,000円分の子育てサポートチケットを配布し、その利用者に保育料を割引くという「保育料割引キャンペーン」である。チケットが印刷されたチラシを約7,000枚作成し、ポスティング、DMのほか、伏見大手筋商店街にある京都市プレミアム商品券販売所で配布した。さらに、9月からは、就学前の子どもを持つ親を対象に、一時保育登録をした人に保育料として使用できるチケット3,000円分をプレゼントするという「一時保育登録キャンペーン」も実施した。こちらは約3,000枚のチラシを作成し、ポスティング、DMで配布した。

どちらのキャンペーンも登録料として1,500円が必要だが、2015年4月から2016年3月までで、約400人の利用者があったという。「1日1名は必ずキャンペーンチケットを利用する方がいて、多い日には4名というときもありました。1回の利用で、3時間預ける方が多くいました」。AJOSCの助成は、保育料の一部負担、チラシ作成や配布、本事業のために雇用した保育士や保育アルバイトの謝礼などに役立てられた。チケット利用者のなかには、その後、正規料金で一時保育や月保育(月10回、15回、20回の定期保育)を利用する人も出て、事業の手応えを感じるとともに、エンゼルネットの認知度の高まりも実感しているという。こうした取り組みにより、孤立感を感じながら子育てをしている親の負担や不安が少しでも解消されれば、親にとっても、子どもにとっても、また、社会にとっても有意義なことだろう。



「一時保育登録キャンペーン」の告知をするチラシ



0歳児から小学3年生まで幅広い年代の子どもたちを預かる

助成団体: 特定非営利活動法人 エンゼルネット <http://angelnetmomoyama.info>



#### 核家族で子育てをする不安から第二子、第三子を諦めないために

今回の助成により、一時保育を知ってもらう、利用してもらう事業を展開することができました。今後も「社会から孤立している」と感じながら子育てをしている親たちに、「エンゼルネットがあってよかった」、「子育てを応援してくれる人たちがいる」と思ってもらえるようにがんばっていきます。それが少子化の抑制や女性の就業継続につながれば幸いです。

NPO法人 エンゼルネット  
理事長 山本 拓史さん